

父母のためのキリスト教講座

2013年度秋学期

明治の日本を歩んだ女性宣教師たち (4回シリーズ)

講師：小見のぞみ 教授 (聖和短期大学宗教主事)

会場：関西学院会館1F 翼の間

時間：11:10~12:40

開国間もない明治期前半の日本で、社会の隅に追いやられていた女たち、こどもたち、ハンセン病にかかった人たち・・・のところにやってきたのは、外国人の女性宣教師たちでした。キリスト教の福音が、「一人の人間であること」を回復させ、Happy face へと変える力であることを信じた彼女たちの物語をご一緒にたどりましょう。大阪以西で活躍した、とっておきの5人をご紹介します。

第1回

9月25日(水)
ジュリア・ダッドレー
(1873年来日)

キリシタン禁制の高札が下ろされるころ、神戸におりたった「愛の天使」

第2回

10月16日(水)
メアリー・ランバス
(1886年来日)

5ドルと共に献げられ、信仰を貫いた、ランバスファミリーの母

第3回

11月13日(水)
ナニー・ベット・ゲーンズ
(1887年来日)

仏教徒の街広島島の「異人さん」から希望を捨てない「ゲーンズ先生」へ

第4回

12月11日(水)
ハンナ・リテル
(1891年来日)
エダ・ライト
(1896年来日)

熊本「回春病院」に花ひらいた、大輪のバラと可憐なスミレ

※第4回のみ、会場：関西学院会館1F 輝の間

参加費無料